

## 不燃ごみの収集・分別に関する提案書

土庄町の不燃ごみについては、これまで小江の一般廃棄物最終処分場において埋立処分を行ってきたが、容量が満杯となったため、令和2年4月1日から綾川町に搬出をしている。

ごみ問題については、住民の関心も大きく、当委員会でも所管事項として調査、研究を進めているところであり、新たな最終処分場の建設も含め、今後の土庄町のごみ問題について住民の理解を深め、循環型社会の構築を目指して執行部とともに取り組んでいく必要があると考えている。

しかしながら、現状では、不燃ごみの中に燃えるごみや資源ごみなどが混入しているなど分別の徹底が十分に図られているとは言えない。分別の徹底はごみの減量化・資源化を推進していく上で喫緊の課題であることから、先般、実施した視察等も踏まえ、当委員会として不燃ごみの収集・分別に関して、別紙のとおり提案する。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においては、従来の方法で実施することが困難なものもあるため、方法を工夫するなどして積極的な取り組みをお願いしたい。

令和2年9月17日

## 1. 周知・啓発について

住民に土庄町のごみ問題の現状を徹底的に周知し、数値目標を掲げた政策の実践を。周知にあたっては、分かりやすい現状説明資料（パワーポイント、動画等）を活用するとともに、対象ごとに次のような取り組みを提案する。

### ○住民向け

- ・早急に品目別・分別収集冊子を作成、全戸配布し、分別に関する町民の意識を高める。
- ・集積場への看板設置、ポスター、写真等の掲示による啓発。

### ○団体向け（自治会、老人会、婦人会、小・中学校等）

- ・説明会、回覧板などによる周知を。特に、間違いやすい分類や、地区公民館にガラス、刃物、陶器のコンテナが設置されていることについて周知徹底を図る。
- ・中間処理の実態を知ってもらうための視察研修の事業を行う。

### ○事業者向け

- ・大型店舗に対してリサイクル推進の理解、協力を求める。

## 2. 集積場等の整備について

集積場等の整備に取り組むことは、ごみ処理を適正に行い、収集の円滑化を図っていかうとする町の姿勢を示すとともに、住民に分かりやすい排出方法とすることによって、分別の推進に繋がっていくものとする。次のような取り組みを提案する。

- 土庄・淵崎地区にもガラス、刃物、陶器を入れるコンテナを設置する。
- ごみステーションがない地区に対して、「土庄町ごみステーション設置事業補助金交付要綱」に基づき、補助金等の活用を推進するとともに、用地については町有地・自治会用地の活用を検討する。
- 不燃ごみの集積場に、ガラス・鉄類等、袋に入れることが適さないものについて専用ケース等を設置し、出し方の緩和を図る。
- 地元小売店に対する補助要綱を設け、分別ケース等の設置を推進する。
- 不燃ごみの中に資源ごみが混入しないよう資源ごみ収集の回数を増やして分別の徹底を図る。